

災害時等健康危機管理支援の取組み

【事業名】 北河内ブロック合同 災害時の食事提供に係る危機管理研修会

【目的】 災害発生時においては「安全な食事の提供」が課題であり、特定給食施設では、災害時を想定したマニュアルの作成や備蓄の準備が必要です。

また、地域においても災害時における食事提供について、平時から関係団体や関連施設と協議・連携し、食支援のネットワークの構築を図ることが重要です。そこで関係者の理解を深め、地域のネットワークづくりの推進を図ることを目的に研修会を開催します。

【対象】 給食施設関係者、地域活動栄養士会、市関係者、大阪府保健所関係者等

【主催】 大阪府四條畷保健所、枚方保健所、寝屋川保健所、守口保健所

【内容】

(1)日時 平成25年1月23日(水) 午後2時～5時

(2)場所 枚方市立メセナひらかた会館 2階多目的ホール

(3)参加者 給食施設関係者 213施設 241名、その他 51名 合計292名

(4)内容 ①情報提供

- ・給食施設における危機管理対策の現状(四條畷保健所)
- ・北河内地域の防災対策について(枚方土木事務所)

②講演

「東日本大震災を経験して

～給食施設の対応と今後の課題について～」

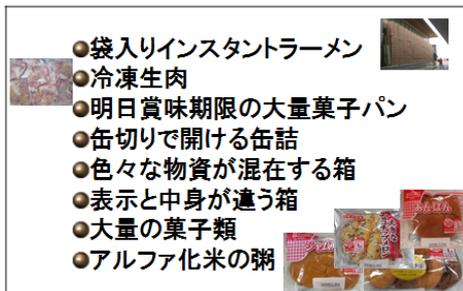
講師:石巻赤十字病院 栄養課長 佐伯 千春氏

支援物資・・・便利だったもの

震災直後	お粥缶、レトルトご飯、無洗米 おかずの缶詰(魚、牛肉など) 牛乳、ヨーグルトなどの乳製品 卵 使い捨て食器
水 使用可能後	生野菜、生果物 カップラーメン(職員用)

支援物資・・・ちょっと困ったもの

- 袋入りインスタントラーメン
- 冷凍生肉
- 明日賞味期限の大量菓子パン
- 缶切りで開ける缶詰
- 色々な物資が混在する箱
- 表示と中身が違う箱
- 大量の菓子類
- アルファ化米の粥



災害時シュミレーションの実施
平成24年11月3日大規模災害訓練実施



地域ネットワークの強化

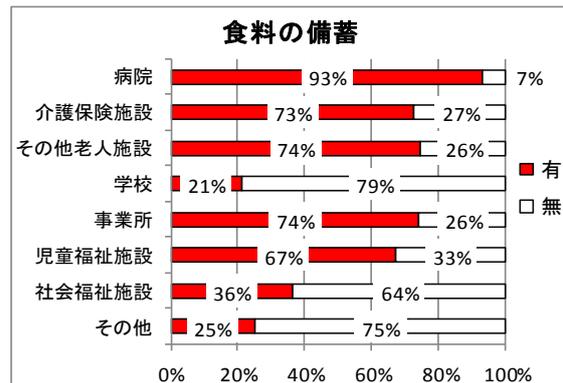
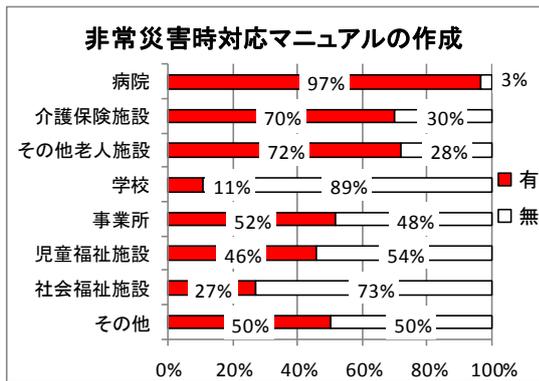
地域連携ネットワークを
活用した情報共有

↓

職域を超えた、エリア単位による
情報の集約と共有

【結果】

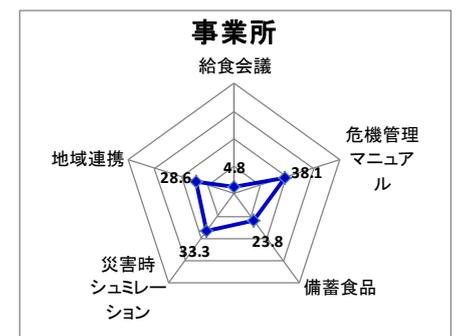
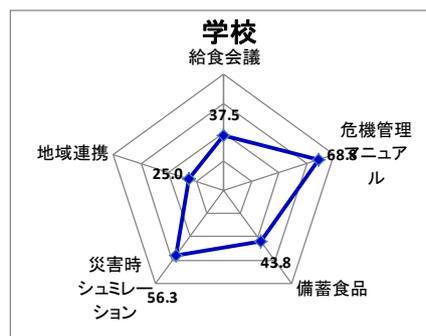
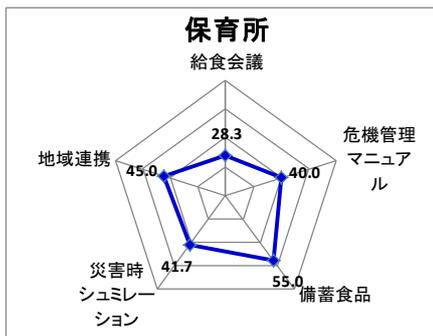
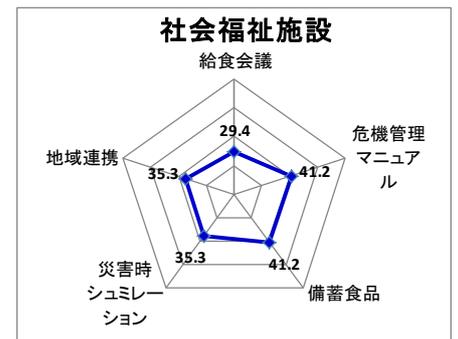
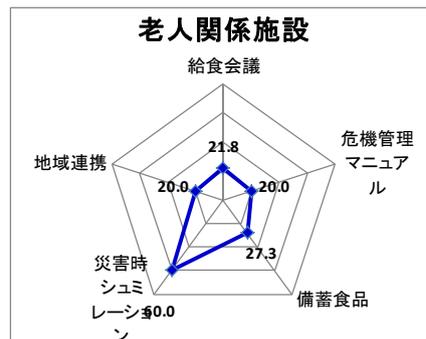
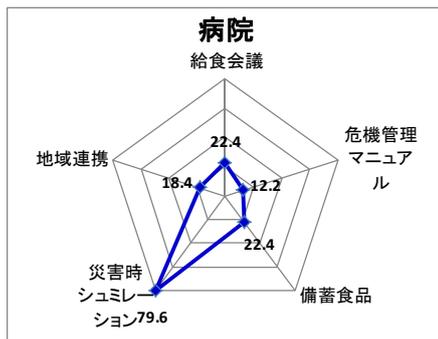
(1) 施設種別ごとの危機管理対策の現状(研修会出欠票での施設アンケートの結果より)



現状では、非常災害時対応マニュアルを作成している施設は、病院で97%、老人関係施設・社会福祉施設で約7割、事業所・児童福祉施設が約5割、学校は1割でした。

また、食料備蓄のある施設は、病院で93%、老人関係施設・事業所・児童福祉施設で約7割、社会福祉施設36%、学校21%でした。

(2) 給食施設で今後特に必要だと感じたこと。(研修会後の参加者アンケートの結果より)



給食施設全体では、①災害時シミュレーションの実施 ②備蓄食品の設置 ③危機管理マニュアルの作成・設置 ④地域連携 ⑤給食会議の開催の順でした。

【課題と今後の方向】

給食施設における非常災害時の危機管理対策は、東日本大震災後少しずつは前進していますが、食に係る備えはまだ十分ではありません。

今後は、各給食施設での危機管理対策の充実及び、各市の関係課や地域の給食研究会、食に関する団体等と連携し、地域で実践的な災害時の食支援ネットワークの構築に向けた取り組みを行っていきたく考えています。